

<金標準、日米金融政策の違いの円高懸念で戻りが抑えられる・・・>



(出所：オアシス)

中国人民銀行は、外貨準備高に占める金保有が1月に続き2月も5トンの増加を示し、2290トンとなっている。しかしトランプ大統領の就任以来、関税要因を受けたロンドン市場の現物価格とNY市場の先物価格の差が、金現物がNY市場に十分に移動した事から一時50ドル近く拡大した価格差が5ドルまで縮小し、ロンドン市場の金リースレートでも5%を超える水準から0.8%まで低下している。またトランプ大統領は「日本の円であれ中国の通貨であれドルに対して通貨を下落させるとアメリカにとって非常に不公平で不利な状況をもたらす」と述べている。特に週末の雇用統計では、非農業部門就業者数が15.1万人増、失業率が4.1%となり、為替市場は利下げ観測が強まり一時円ドルで146.95円まで円高が進むなど、トランプ大統領の発言以降、為替市場は円高傾向が強まっており、円建て価格の金標準先物は、リースレートの低下やロンドンとNYの価格差の縮小などNY金の上値が抑えられた値動きに円高の悪影響から13800円割れに注意した方が良いと思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが下げながら、シグナルも下げている。RCIでは短期が上昇し、長期も下げている。そのためMACDとシグナルのクロスやRCIの長期の下げ止まりを確認するまでは下値模索に注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,065,000 円(2025 年 3 月 10 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2025 年 3 月 10 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>